

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強度行動障害の基礎研修受講者が15名中12名受講しており、その他所内研修を年に10回行っている。所内研修では、特別支援学校の教師、性教育のスペシャリスト、作業療法士会から先生をお招きして、様々な角度から学びの場を作っています。また、生活介護・就労施設の見学会も昨年は4度実施しており、多職種連携に意欲的に取り組んでいます。	様々な視点で課題を捉えられるよう、様々な職種の方から話を聞いたり、意見交換できるよう心がけています。また、知識や支援技術が向上していけるよう日々のミーティングなどでも学びの機会を作るようにしています。また、保護者参加型の研修会を開き、保護者の学ぶ機会、意見交換できる場を提供しています。	様々な放課後等デイサービスとの交流を図り、同じような課題に対する取り組み方などの意見交換などの場や、福祉の現場の垣根を超えたネットワークを作っていきたいです。その為、他法人の研修会に参加したり、性教育のサークルに参加しています。
2	事業所内に「支援部」と「学習指導部」があります。「支援部」では、各研修の中に保護者参加型の研修や他法人との合同研修会も行っています。「学習指導部」では、不登校児や個別の学習を望む児童を対象に教員資格者による学習支援を行っています。不登校児に対して、「支援部」と「学習指導部」が連携してかかわっています。		子どもたちの最大幸福のためには、家族、学校との連携が不可欠です。今後もお互いを尊重しながら協力していきます。
3	年に3度、保護者参加型のイベント（歓迎会、夏祭り、クリスマス会）を開催したり、就労施設と連携しあんな体験会を定期的に開催しており、開かれた事業所を目指しています。また、行政や学校、児童館、相談支援事業所、他放課後等デイサービスとも連携を常に図っています。大学や作業療法士会とも連携し、専門的な知識の習得に励んでいます。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	古民家を借りて、当事業所を運営していることもあり、段差が多く、借家である為バリアフリー化がなかなか難しい部分があります。	借家である為、簡単に改修する事が難しいところ。	段差のある部分や危険になりそうな部分にテープを貼るなどの工夫をしております。
2			
3			